

# 樽商大YOSAKOIチーム

## 台湾で演舞披露

### 道代表で17日開幕のフェスに

小樽商大のYOSAKOI「翔楽舞」が17日、台湾中部の台中市で開催される「台中国際ダンスパレードフェスティバル」(同市政府主催)に北海道代表として出演する。1、2年生約40人は週4回の練習に汗を流している。

道内からは札幌市の強豪「よさこいチーム「北昇」」も参加予定。

同チームに見劣りしない演舞をしようと、練習では演舞のリーダーが「旅行気分をやってほしくない。代表の自覚を持って」と気合を入れる。

台湾で披露するのは、6月の札幌の「YOSAKOI Iソーラン祭り」で披露した「慶陽」。「共に刻みし

「台中国際ダンスパレードフェスティバル」に向け練習する翔楽舞の学生たち



翔楽舞が10周年を迎えたことを喜び、2007年創立の「十の慶び」という歌詞が合言葉、2007年創立の翔楽舞が10周年を迎えたこと

とを喜び、2007年創立の翔楽舞が10周年を迎えたこと

を喜び、2007年創立の翔楽舞が10周年を迎えたこと

ト「瀋陽国際旅遊節」など海外公演の実績があるが、現在の代での海外遠征は初。

翔楽舞の代表で2年伊藤

和真さんは「本番では台湾の人が見ている元気が出るような演舞をしたい」と話し、自身の代で初の海外公

演に意気込んでいる。  
(徳留弥生)

# 「地方からの発信励みに」

## 本社で読者と道新委員会

北海道新聞の報道について、社外の委員に提言してもらおう本年度2回目の「読者と道新委員会」が1日、札幌市中央区の道新本社で開かれた。事件・事故に関

する報道や、地方からの情報発信、衆院選(10月22日投票)に関する一連の報道について議論した。

委員は小樽商大教授の片桐由喜氏(小樽市)、帯広第一病院副院長・在宅ケアセンター長の酒井俊氏(帯広市)、弁護士坂口唯彦氏(札幌市)、農業関連会社「ホーブ」会長の高橋巖氏(上川管内東神楽町)、函館山ロープウェイFMいるかチーフパーソナリティの中野由貴氏(函館市)の5人。道新からは田辺靖編集局長らが出席した。



事件・事故報道について「新聞に求めるものは検証記事。続報をよく取材している」と評価する声の一方、「実名報道は重要だが、インターネット上に残ることへの配慮が必要。電子版では匿名にすることも必要では」との指摘があった。

地方からの情報発信には「各地の成功事例や体験は、他の地方都市にとって励み

事件・事故報道などについて委員から意見を聞いた「読者と道新委員会」

や参考になる」との意見が出た。衆院選報道には「道内の選挙情勢や分析が面白かった」「18歳選挙権に関する記事が少なかった」との声が上がった。(詳細は3日朝刊に掲載します)